



耕種褒賞規則

978



414
A 3803

上品蠶種褒賞規則

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



今般各地方蚕種品位の鑑定法相立上好の蠶種製造の者一も其等より従ひ褒賞被成下其名をして廣く天下に公布し其業を事とする者の模範とらしむる茶養蚕場管轄の地方官より於て管内説明を取調左の規則より従ひ最好の品鑑別し國限の優等三位を擇舉し毎年約八月中民部省へ可差出事

規則

一 粮蠶場管轄地の模様は従ひ最寄に於て組合を立て一組概算百人と定め組合中公撰入札の法を以て篤實研業の者二人を撰擧し其組内の世話役と爲し
但右公撰法の時日を定め組内の者管轄の官廳へ集會し銘々撰擧はつき人の名を記しし小札を印封して差出し入札

畢て縣官立會の上開封し其撰に當る人名を稠衆に宣布し之を書冊に記し擧數多き者を以て其組の世話役とし勤役年限も凡四年を期とし更此法則を以て交代の者を撰擧し其給分ハ一年試の上より集議より之を定むし
一 世話役も養蚕の時節に至らば組内粮蚕方

蠶種出来の模様を見計ひ上好の蚕種製作
の者も其名面を記し置蚕種出来揚の上員
數改鑑札願受の節地方官へ申立右蚕種本
部二枚を見本として差出はし

但其蚕種出来の原繭の見本出売繭數三
十個を添ふべし右見本を鑑定濟の上都
て本人へ下遣はし尤蚕種白繭黄繭の
差別無く品格の上下に従ふべし

一 各組合に於て右の方法を以て最好の蚕種
世話役共より差出候上りて管轄の地方官
より取纏一國限りの最好品位鑑定法を為
はし

一 一國限の優等鑑定法と管轄地の分割と拘
らる支配地蚕種製造の者舉數多き藩縣を
以て一國限の總鑑定場と定め各藩縣共上
好の蚕種世話役より差出候はし右總監

定場へ取寄毎組の世話役集會熟覧いし
 入札を以て其國限の優等三位を擇舉はく
 一國限三位の優等を舉り候者ハ管轄の地
 方官に於て左の雛形の通切牌を製し衆人
 注目の場を撰みて之を掲け且其國限り艱
 蚕場へ其由を布告すべし
 一國限三等區別書雛形

干支年	武藏國產	何藩縣	第	第
月	蚕種上	支配所	一	三
製	品三等	何國何村	等	等
作	之差別	誰組合誰	等	等
		製之	等	等

但三陸兩羽磐城岩代上野信濃甲斐其外
 の國々共此例に准はばし

賞格

一國限蚕種上好品位
 第一等

第二等

第三等

但賞典ハ擇舉の節ニ至リ相達ハズシ

一 國限鑒定の法相濟候上ヨク右優等三位の蚕種并出売繭トモ民部省ニ可差出民部省ニ於テ沈ク精業研學の者を撰み入札を以テ更ニ鑒定を經御國內の優等三位を撰舉ス

一 此優等三位ニ入ルモ則御國內の最上品ニ付民部省ニ於テ左の雛形の通功牌を製シテ衆人ニ揭示シ且新聞紙を以テ其名を天下ニ公布シ養蚕家の龜鑑ト以テス

賞典	干支年	御國産	何藩縣	第一	第三
	製月	蚕種上	支配所	何國何村ニ	同上
	品三等	第一	何國何村ニ	同上	同上
	之差別	誰組合誰等	製之	等	等

御國産蚕種最上品位

第一等

第二等

第三等

但賞典を擇萃の節に至り相違なくし

右之通規則相定候事

庚午八月

民部省

